

豊中だより HAPPY

Toyochu HAPPY

第4号

発行日

2019. 6. 17(月)

発行責任者

Y,TANAKA

✉ ibjh05@educ.city.ibaraki.osaka.jp

3年の力が見えた修学旅行 (6/5~7)

6月5日から7日の3日間3年生は沖縄修学旅行に行ってきました。沖縄は3日間とも晴天で、空の青さ、海の青さを十分目に焼き付けることができました。到着した日の午前中まで大雨が降っていたそうで、みんなの日頃の行いの良さが天に通じたんでしょうか。何よりよかったのは全員で行けたこと！日常からの先生や生徒同士のつながりの成果です。3年生のみんなご苦労様でした。

5日(水)

集合場所は伊丹空港、集合時間は7:30でしたが遅れてくる人もなく、時間通りのスタートでした。保護者の皆さん、早朝から多数送迎していただきありがとうございました。伊丹空港から離陸。豊中生からは歓声が上がり、拍手が起きました。フライトは、大きく揺れることもなく、那覇空港へは予定通り到着しました。空港から一歩出ると、そこは曇っていましたが、真夏でした。バスに乗り込み、まず、昼食場所の豊崎ちゅらさんビーチへ向かいました。到着した時にはすでに晴天で、思い思いに屋根の下でお弁当を広げ、その後少しだけ付近を散策できました。



次に糸数壕(アブチラガマ)に到着しました。沖縄戦末期、兵隊さんや怪我をした人たち(中は病院もありました)、逃げ場を失った住民がアメリカ軍の嵐のような攻撃(鉄の暴風)をさせてガマの暗闇の中で息を潜め隠れていました。ガイドさんの話から、ガマでの生活の怖さ、苦しさを感じ、極限の状態の中での人々の思いを覚えてくれたと思います。

一行は、次に平和祈念公園・平和祈念資料館に向かいました。まず、平和のセレモニー、人権サークルの人たちを中心にメッセージを読み上げ、全員で黙とうをしました。



その後、礎の前に作っていった千羽鶴をささげました。語り部の古謝(こじや)さんの講演では、ご自身が終戦の時に6歳で捕虜となり収容所で過ごされた経験や4月1日のアメリカ軍の本島上陸から、戦闘の終結までの様子を地図を見て、体験談を交えてご説明いただきました。その後、資料館内の見学をしました。



資料や映像を熱心に見いる姿がたくさん見られ、時間ぎりぎりまで、手記などを一つ一つていねいに読み、それぞれよく学んでいたと思います。

資料館を出たあとは、1日目の宿泊先恩納村ペンション村へ向かいました。6時前に到着。すぐにバーベキューがはじまりました。ゴーヤーチャンプルを作り、肉を焼いたり、焼きそばを焼いたり、男女関係なく汗をかきかき頑張っていました。8時前から、クラスミーティングが始まりました。独特の緊張感の中、自分のこと、クラスのこと、仲間への思い、みんなに知っておいてほしいことなど、それぞれの本音が語られていきました。仲間の思いは受け止められたでしょうか。聴いたこと知ったことを日常の学級づくりにぜひつなげてほしいと思いました。

2日目もマリン体験日和となりました。昨晩に体調を崩していた人も集合時間にばっちりそらい朝食をとりました。朝早く起きて少し寝不足の人もいたようですが、洋風の朝食をみんなでいただきました。

さて、楽しみのマリン体験です。最高のいいお天気。9時過ぎには、ハマバルビーチへ到着。インストラクターから説明を受けた後、クラス男女ごとにドラゴンボートとビーチフラッグが始まりました。ドラゴンボートはけっこう怖いものですが、みんな楽しそうに帰ってきましたね。その後は海で気持ちよさそうに泳いだり、はしゃいでいました。



ビーチから、ネイチャーみらい館へ到着したのは12時ごろでした。入村式をすませ、各グループごとに民家の方々が車で連れて行ってくれました。民家では、タコライスやソーキそばなどをいただき、その後は各民家ごとに海へ散策へ連れていってもらったり、アクセサリやおかしを作ったり、エイサー見学に連れて行ってもらったグループもあったようです。民家のお父さんやお母さん、おじいやおばあにとてもよくしてもらい、体調が悪かった人も元気になったそうです。翌朝もみんないい顔をして民家から帰ってきました。

3日目もいいお天気。9時前からみんな続々と帰ってきました。離村式があり、別れを惜しみました。お世話になった民家の方々がいつまでも手を振って見送ってくれました。



一行は東洋最大の嘉手納基地へ



向かいました。道の駅からでなから見える基地の中は広大で、戦闘機や輸送機の離発着の様子を見ることができました。次に嘉数高台に向かいました。ここは、今は住宅街の中の公園になっていますが、沖縄戦で最初の激戦地となった場所です。今も当時のトーチカ(防御陣地でそこから敵に攻撃した場所)の跡が残され、展望台からは普天間基地が見渡せ、みんなも聞いたことがある「オスプレイ」も小さくですが見えました。



最後は国際通りグループ行動でした。まず班別で昼食をとり、その後思い思いに家族や自分へのお土産を買いに行きました。最後のプログラムでしたが、みんな元気に回っていました。

帰りの飛行機の中でもみんな元気でしたね。沖縄の三日間は、みんなの大切な思い出となったでしょうか。家でこんなことがあった、こんな体験をしたと、お土産話ができたでしょうか。



3日間を通じて、実行委員さんや学級委員さんの活躍が目立ちました。特に節目でしてくれたあいさつは、思いが込められ自分の言葉で話してくれたことがとても良かったと思っています。

最後に、フューチャー未来館を退村するときに、いただいた言葉をみんなは覚えていますか、「ちむぐる(肝心)」という言葉です。沖縄の方言で「優しい心、思いやり、相手を敬う心」と教えていただきました。たった2泊3日の間でしたが沖縄の皆さんからいただいた「優しさ、思いやりの心」を決して忘れていないだろうと思います。また、その優しさの奥底に74年前に沖縄の人々が経験した深い悲しみがあったことに気づいてくれたと思います。今度は、この豊川の地で、家族や仲間、地域の皆さんに対して「ちむぐる」を持って接してほしいなと思います。皆さんならそうなってもらえると思っています。

2年キッザニア甲子園 (6/6)

2年生は、11月におこなわれる職業体験学習に向けた事前学習として、「キッザニア甲子園」に行きました。1人最低3つぐらい、多い子では5～6のブースを体験しました。



それぞれにいい体験できたようです。みんな制服がよく似合い、楽しそうに体験していますね。

今はまだ将来何がしたいのかわからない人も多いと思いますが、この機会に考えてみることは決して無駄にはなりません。皆さんの先輩たちも皆さんと同じようにわからないという人が多かったけれど、案外職業体験に行った仕事をしている人も多いですよ。自分のしたいことが



決まっていることはいいことですが、わからなくても、できるだけ多くの経験をして、自分にはどんな適性があるのか考えてみるチャンスです。



すべての仕事に共通して言えることは「楽な仕事はないということです。」よく考えて選んでください。



聴き取り学習 (6/4)

キッザニアへ行く直前、6/4に2年生は看護師の車田さんと建築工房を営む倉橋さんに来ていただき、ご自身の経験や仕事の内容、やりがいなどについてお話を伺いました。

皆さんの感想を読んでいると、単に仕事の話聞いたということを超えて、話の中身をよく理解し、その方の生き方に共感している人もたくさんいてすごいなあと思いました。みんなも自分のことと重ねて考えてみてください。



1年DAYキャンプ (6/5)

1年生は6/5に天気にも恵まれDAYキャンプへ行きました。準備から、実行委員さんにたくさん立候補してくれしっかり役割を果たしてくれたそうです。行きのバスではバス酔いになってしまった人も多くいて、大変残念でした。マキ拾い、カレー作り、片付けもしっかりみんなで協力でき、最後はキャンプ場内で色々な色の花などを集める「色集めゲーム」をしたそうです。楽しかったですか。入学以来、まだあまり話したことなかった人や、普段の学校生活では見えなかった仲間の良さに気づいてくれましたか。



さあ、1学期末テスト

いよいよ期末テストが明日から始まります。準備はできていますか。悔いの残らないよう頑張ろう！

	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目
6 / 2 6 (水)	テスト勉強	数学	理科(1・3年) 英語(2年)	保体(1・3年) 美術(2年)	午前中まで
6 / 2 7 (木)	テスト勉強	国語	英語(1・3年) 理科(2年)	美術(1・3年) 保体(2年)	午前中まで
6 / 2 8 (金)	テスト勉強	社会	音楽-技家	授業	総合学習